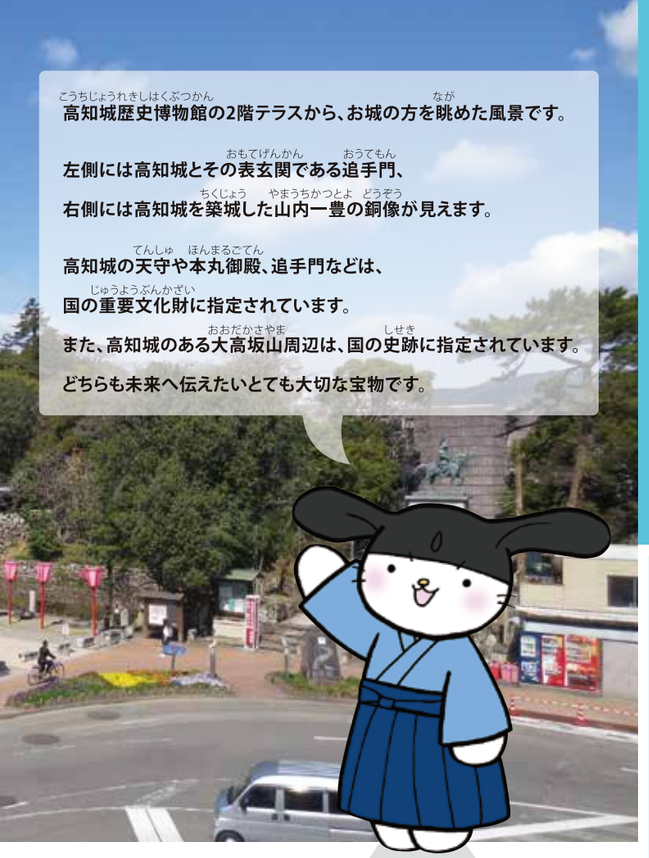


高知城歴史博物館の2階テラスから、お城の方を眺めた風景です。

左側には高知城とその表玄関である追手門、
右側には高知城を築城した山内一豊の銅像が見えます。

高知城の天守や本丸御殿、追手門などは、
国の重要文化財に指定されています。
また、高知城のある大高坂山周辺は、国の史跡に指定されています。
どちらも未来へ伝えたいとても大切な宝物です。

パンフレットを持って、お城の山を探検してみよう！色んな発見があると思うよ！

高知城 まめ知識

最初に高知城を建てはじめた人

山内一豊（初代藩主）

天守が最初に建てられた年

1603年

火事のあと高知城を再建した人

山内豊敷（8代藩主）

火事のあと天守が再建された年

1749年

天守の高さと階数

高さ約18.5m、5階建て

天守のある本丸の標高

約44.4m

階段の数

追手門から本丸まで158段
天守のなかに40段、計198段

高知城の
スタンプを押そう！

平成29（2017）年4月
第1号

歩こう！ 楽しもう！

わたしたちの
大切な宝物 高知城

高知城

さあ、この門から
高知城の探検に
出発しよう！

やまびょん

高知県立 高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

わぁ～、いい眺め！

山内一豊が
高知城を建てたのは、
今から何年くらい
昔かな？

この石垣には、
カタカナの文字が
隠れているよ！

このパンフレットには、高知城を探検する時に役立つヒントがたくさんあります。

追手門

おうてもん

高知城の表玄関（正面玄関）。表玄関にふさわしく、柱や扉、石垣など、威厳のある立派な造りになっています。追手門には、敵の侵入を防ぐための矢狭間や石落などの仕掛けがあります。

本丸御殿と天守

ほんまる　ごてん　てんしゅ

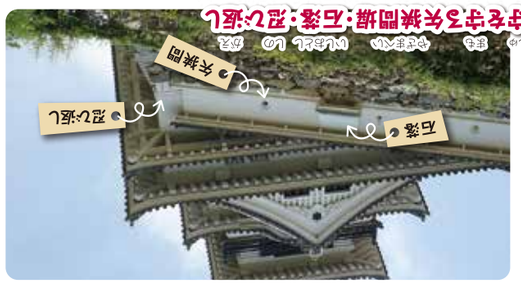
高知城は、日本で唯一、本丸の建物がそろって残っているお城です。天守をはじめ、本丸の御殿・納戸蔵・多聞櫓・廊下門など、内部がたくさん造りになっているかどうぞ見学してみよう。

現在、二ノ丸と三ノ丸には建物がのこせんが、江戸時代には、右の図のように、二ノ丸と三ノ丸にも、御殿やその ほかの建物が建っていました。本丸・二ノ丸・三ノ丸には高さに違いがあります。本丸が一番高い場所にあり、一段下がって二ノ丸、また一段下がって三ノ丸がのびます。実際に、お城に登って、高さの違いを確認してみよう。

天守を守る矢狭間・石落・忍び返し

てんしゅ　まも　やざまま　いしおとし　しのびがえし

城には外から三角・四角形などの矢狭間や、石落の仕掛けが作られています。侵入者に対し、矢を放ったり、石を落としたり、槍で突き落としたりするための仕掛けです。忍び返し（鉄串）は、日本で唯一、高知城にだけ残っています。



江戸時代の高知城 想定復元図

えどじだい　こうちじょう　そうていふくげんず

この絵を見て、現在と江戸時代とで、同じところ、違うところを探してみよう。

（図は西ヶ谷恭弘監修『新版名城を歩く6 高知城』（PHP研究所、2009年）より転載です）

1

侵入者を防ぐ仕掛け

追手門の前は「升形」と呼ばれる造りになっていて、侵入者を三方向から攻撃できるようになっています。実際に行って、確認してみよう。

2

深さ約18mの井戸

江戸時代、高知城内には14の井戸がありました。中でも、この井戸は一番水質が良く、藩主のくらす二ノ丸御殿にも運ばれていたそうです。

3

取り出された石

三ノ丸の石垣をなおした時に、取り出された石が置いてあります。どこから取り出された石か分かるかな。石の裏側も見てみよう。何か気づくことがあるかな。

4

本丸南側の石樋

雨水がたまって、石垣が崩れやすくなるのを防ぐための工夫です。本丸南側のほかに、三ノ丸東側、板垣退助銅像後ろの杉の段に登っていく左手石垣にも、石樋があります。

5

高さのある石垣

二ノ丸から本丸の西側をながめた風景です。西の多聞櫓の下に、高さのある立派な石垣が見えます。

6

お城の動物園

御台所屋敷跡には、平成5(1993)年まで、動物園がありました。

1回目の探検の記録　年　月　日

1回目は、マップの番号をヒントに、探検してみよう!
マップの番号のところを、見つけられるかな?
見つけたら、□にチェックをつけよう!

気になったものを、絵に書いて記録に残そう!

2回目の探検の記録　年　月　日

2回目は、自分の気になる場所を探検してみよう!
気づいたこと、きょうみを持ったことをメモしよう!

気になったものを、絵に書いて記録に残そう!

探検の準備はOK?

地図、筆記用具、消しゴム、カメラなどを持っていると便利です。
探検する時は、まわりや足もとなどに十分注意してね。水分補給も忘れずに!

探検した写真の☑に印をつけると、行った場所がわかりやすいよ!

【おおむね左から右に読みがなを記す】追手門[おうてもん]、太鼓丸[たいこまる]、下屋敷跡(県庁)[しもやしきあと(けんちょう)]、板垣退助銅像[いたがきたいすけどうぞう]、鐘撞堂[かねつきどう]、物見窓[ものみまど]、犬走[いぬばしり]、山内一豊の妻像[やまうちかつとよのつまぞう]、本丸御殿[ほんまるごてん]、井戸跡[いどあと]、桜山[さくらやま]、黒鉄門[くろがねもん]、本丸[ほんまる]、忍び返し[しのびがえし]、東多聞[ひがしたもん]、横矢掛り[よこやがかり]、西多聞[にしたもん]、御台所屋敷跡[おだいどころやしきあと]、廊下門[ろうかもん]、伝長宗我部時代石垣跡[でんちょうそがべじだいいしがきあと]、杉ノ段[すぎのだん]、馬場跡[ばばあと]、詰門[つめもん]、三ノ丸[さんのまる]、丑寅櫓跡[うしとらやぐらあと]、搦手門跡[からめてもんあと]、城内三社跡[じょうないさんしゃあと]、二ノ丸[にのまる]、乾櫓跡[いぬいやぐらあと]、水ノ手門跡[みずのてもんあと]、数寄屋櫓跡[すきややぐらあと]、横矢掛り[よこやがかり]、乾櫓跡[いぬいやぐらあと]、銀杏並木[ぎんなんなみき]、紅葉並木[もみじなみき]、杉並木[すぎなみき]、打込ハギの石垣[うちこみはぎのいしがき]

7

搦手門跡

江戸時代には、この上に追手門のように櫓があり、高知城の裏側の玄関でした。搦手門から入ると、追手門から入る時とは違う風景が広がっています。ぜひ裏側からも高知城を探検してみよう。

8

排水の設備

高知城には雨水を排水するためのしくみがあります。写真は御台所屋敷跡下側の排水設備です。

9

二ノ丸北側の石垣と木立

野面積の素朴な石垣と木の並びが美しく、気持ちの落ちつく空間です。

10

美しい曲線の石垣

「扇の勾配」といわれ、斜めに反りあがる姿が美しい石垣です。石垣の角の造りに注目です。三ノ丸北西角の石垣です。

11

石切途中の石

石を切ろうとしている跡が残っています。三ノ丸北側奥にあります。

12

横矢掛り

石垣を登ってくる侵入者を横から矢で防ぐための工夫です。三ノ丸東側・北側の石垣。

13

石切跡の残る石垣

石を切断した時の跡が残っています。三ノ丸東側の石垣の内。